

6-9

個別ケア

担当制・受け持ち制

利用者への係わり度 100%のデイサービスを目指そう!!

～利用者担当制・受け持ち制導入の効果を検証する～

荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター

| | |
|----------------------|-----------------------------------|
| 発表者：主任・看護師 久保 恵美 | 共同研究者：ケアワーカー 南雲 みどり |
| 所在地：東京都荒川区南千住 6-36-5 | 共同研究者：デイサービス職員一同 |
| TEL：03-3802-7562 | E-mail: greenhaim@seifuukai.or.jp |
| FAX：03-3802-7564 | URL: http://www.seifuukai.or.jp |

| | |
|----------------------------|---|
| 今回の発表の施設 またはサービスの 概要 | 区内初のデイサービスセンターとして平成元年にオープン。現在は、リハビリに力を入れており「やって楽しく、見て楽しいリハビリ」をキャッチフレーズに掲げ、地域の方に信頼される施設作りを目指しています。 |
|----------------------------|---|

| | |
|--|---|
| <p>〈問題意識と取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">利用者への係わり方にムラがあるのでは?⇒どの利用者に対して万遍なくかわり、より多くの利用者情報を収集すると共にその情報を共有化できる仕組み作り。利用者の気持ちや状態の変化に細かく対応できておらず、本当の意味での個別ケアが出来ていないのではないか?⇒利用者の気持ちや状態の変化を反映した個別ケアが実施できる仕組み作り。 <p>〈具体的な取り組み〉</p> <p>I) 担当制</p> <ul style="list-style-type: none">1週間ごとにその日に担当する利用者を決めるその日担当となった利用者の表情や行動を観察するとともに、積極的にコミュニケーションを図りその日の様子を記録する。 <p>II) 受け持ち制</p> <ul style="list-style-type: none">職員全員が数名から10名程度の利用者を受け持ち、その利用者のケースに責任を持つ。月末に受け持ち利用者のケース記録に漏れがないかを各自の責任において確認する。受け持ち利用者の個別援助計画における短期・長期目標を立案・評価する。利用者の状態変化に応じた個別ケアを行うために受け持ち利用者の身体面・精神面のアセスメントを半年に一度実施する。 | <p>◎担当制・受け持ち制に移行後1年経過したところで職員・利用者アンケートを実施したところ、取り組みへの評価と今後の課題が見えてきた。</p> <p>〈取り組みについての評価〉</p> <ul style="list-style-type: none">その日の担当利用者を知るために積極的に会話をするようになった。また、職員同士の情報交換が増えた。担当制を取り入れる前も、偏りなく利用者とは話をし、観察できているつもりだったが、実際にはコミュニケーションの量に相当の差があり、特に自立度の高い利用者や消極的な利用者との関わりが少なかったことに気付かされた。利用者とかかわりを深く持ち、個別ケアを行うために必要な知識や技術が足りないことに気付かされるとともにスキルアップへの意欲が高まった。職員と利用者の信頼関係が深まり利用者の活動に対する意欲が向上した。 <p>〈今後の課題〉</p> <p>デイサービスに来れば元気になって、話を聞いてもらえるという安心感を持っていただくために必要なもの…</p> <ul style="list-style-type: none">コミュニケーション技術の向上利用者に係わる時間を確保するための記録の合理化とOA化の推進アセスメント→計画立案→実行→モニタリングというサイクルを確立し、受け持ち職員が利用者の状況を正確に把握し担当者会議で裏づけを持って発言、提案できる力をつけるための環境作り |
|--|---|

【メモ欄】